

VHF・UHF BOOSTER
増幅チャンネル ch6, ch1~3・9~12&FM, ch25・39
3WB42N(ch6)
DC15V 方式

42dB型

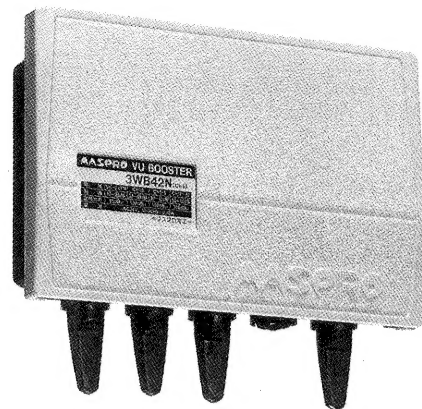
福井地域用

福井地域で、金沢の北陸放送(ch6)および北陸朝日放送(ch25)をきれいに受信するためのVHF・UHF電波増幅器です。



電源部

増幅部



高性能・高信頼

BC(BS・110°CS)アンテナ対応の高性能電源部

電源部は、本器の増幅部とBS・110°CSアンテナへ同時に給電できますから、VU・BS・110°CSの共同受信にも使用できます。

入力レベル調整アッテネーター

VHFとUHFの入力回路にレベル調整アッテネーターを内蔵していますから、電波の強い地域でも使用できます。

優れた機能

全端子電流通過型の分配器に対応 (特許出願中)

電源部の電圧切換スイッチの操作によって、全端子電流通過型分配器の電圧降下分(約1V)を補償できますから、多彩なシステムに対応できます。

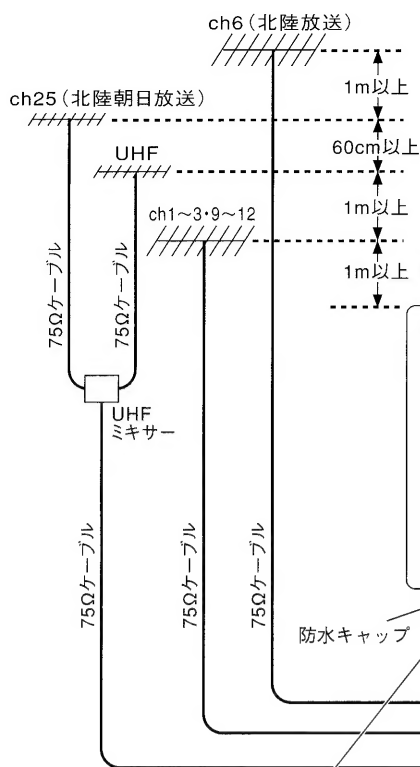
VU混合・別入力两用

入力端子が、スイッチによって、VU混合・別入力を切換えられるようになっていきますから、VUアンテナやVUミキサーを使用した、1本入力の場合でも使用できます。
(ch6は専用入力です)

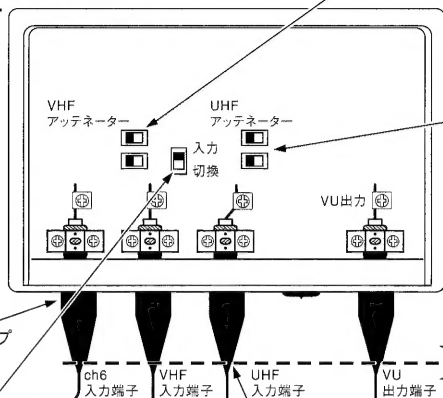
- ご使用の前に、この「取扱説明書」、「安全上のご注意」、「ブースター使用上のご注意」をよくお読みください。
- お読みになったあとは、保存してください。

各アンテナ間が接近しすぎると、アンテナの性能が劣化します。また、アンテナとブースター間が接近しすぎると、場合によってはブースターが発振して、受信障害になることもありますから、よく確認して取付けてください。

各端子の接続は、よく確認して間違えないようにしてください。



増幅部



VHFアッテネーター

(出荷時は25dBになっています)
VHFの画面にスノーノイズが出るときは、画面を見ながら、一番きれいに映る位置に切換えてください。



UHFアッテネーター

(出荷時は20dBになっています)
UHFの画面にスノーノイズが出るときは、画面を見ながら、一番きれいに映る位置に切換えてください。



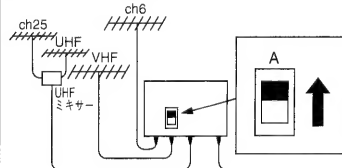
防水キャップ

VU混合入力のときはこの端子に接続してください。

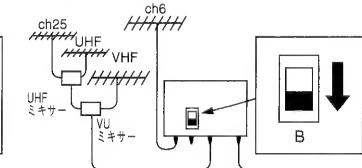
入力切換スイッチの操作方法

(出荷時は別入力になっています)

V、U別入力の場合

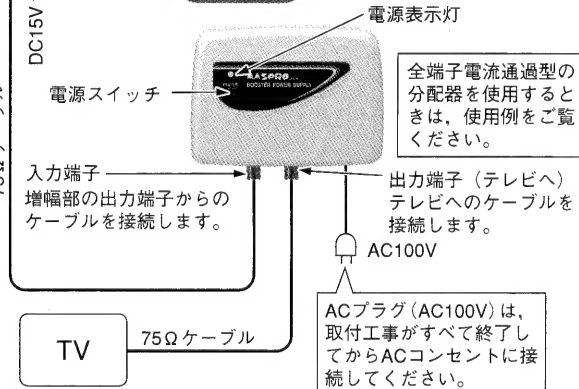


VU混合入力の場合



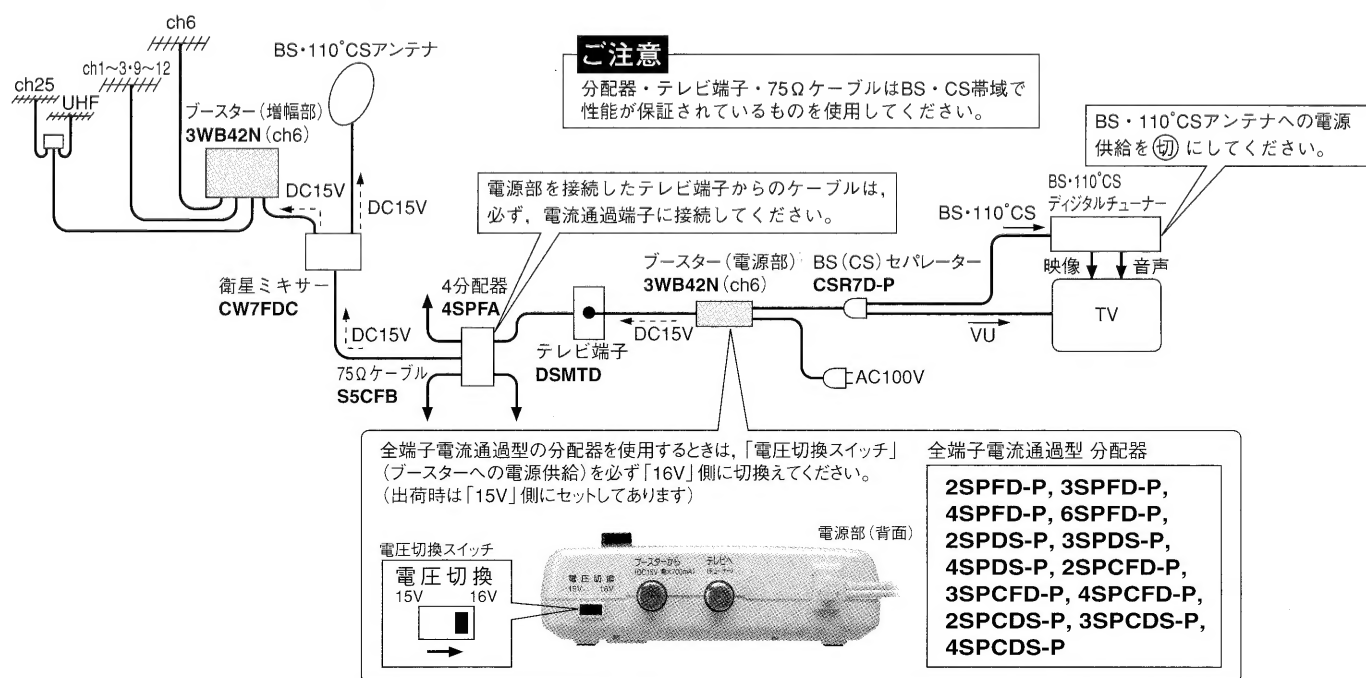
VHF入力端子の防水キャップは切らないでください。

電源部



使用例

BS・110°CSアンテナへ給電する場合



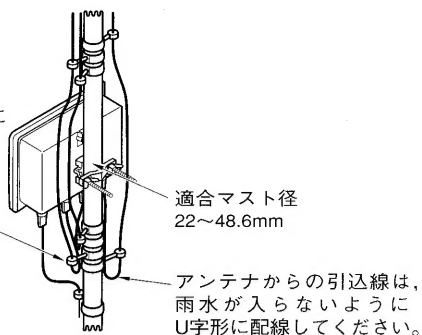
取付方法

増幅部

●マストの場合

ケースのフタを完全に閉めてください。

引込線の固定には、別売の支柱スタンドオフを使用してください。

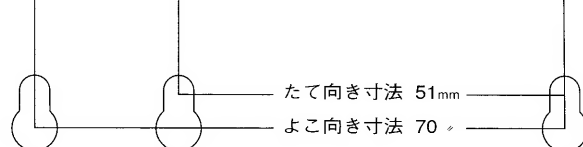
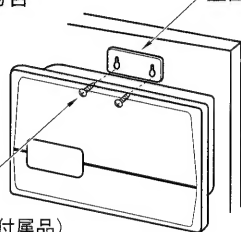


●板壁面の場合

壁面取付金具(付属品)

付属の木ネジ(φ3×10mm)で増幅部に取付けてください。

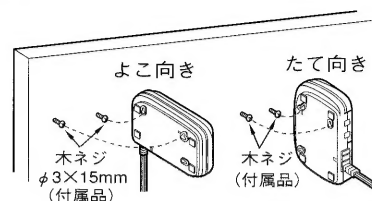
木ネジ(2本)(付属品)
φ4×12mm



電源部の壁面取付寸法(原寸)

電源部

図のように板壁面にも取付けることができます。



ご注意

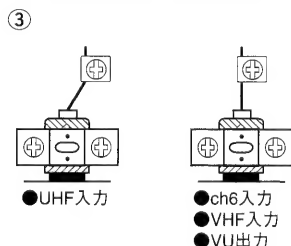
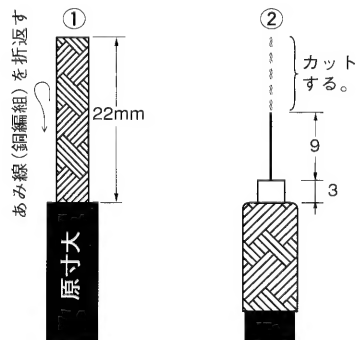
- 電源部をAMラジオの近くに置くと、ラジオから雑音が出ることがあります。できるだけラジオと電源部を離れた状態でお使いください。
- 電源部は、温度上昇を防ぐため風通しの良い場所に設置してください。また長期間使用しないときは、ACプラグをACコンセントから抜いてください。

ケーブルの加工

増幅部 付属の防水キャップに通してから、加工してください。

75Ωケーブル (5Cまたは4C)

3Cは芯線が細く、損失も多いため、5Cまたは4Cをお使いください。



ご注意

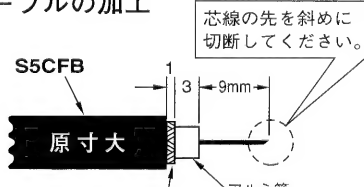
芯線にあみ線(銅編組)が触れないようにしてください。

電源部

F型コネクタ(FP5)の取付方法

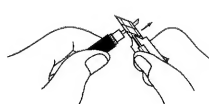
接触不良やショートを防ぐため、プラグはていねいに取付けてください。

①ケーブルの加工



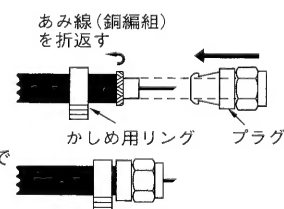
あみ線(銅編組)をニッパー(またはハサミ)で、1mm残して切ってください。

②芯線には白い膜が付いています。導通を良くするために、必ず取除いてください。



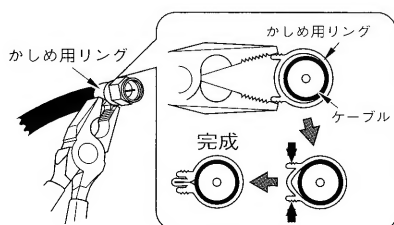
③プラグの取付

1. かしめ用リングに、ケーブルを通してください。
2. あみ線(銅編組)を折返してください。
3. プラグを強く押込んでください。

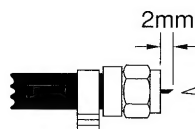


④かしめ用リングをペンチで圧着

プラグが抜けないようにプラグの根元で、しっかりと圧着してください。



完成図



芯線が長すぎると、コネクタが破損して機器が故障します。
芯線の長さは、必ず2mmにしてください。

芯線は、まっすぐにしてください。
芯線が曲がっていると、ショートして機器が故障します。



ブースターは、正しくお使いください

ブースターを正しく取付けないと、ブースターが発振して、ご自宅やご近所のTVの映りが悪くなる場合があります。

- ①入力端子・出力端子の配線は、取扱説明書にしたがって、正しく接続してください。
- ②入力と出力のケーブルは、束ねたりブースターに巻付けたりしないでください。
- ③アンテナマストに取付ける場合、VHF・UHFアンテナとブースター(増幅部)の間隔を1m以上離してください。

詳しくは、別紙「ブースター使用上のご注意」をお読みください。

よい画質が得られないときは

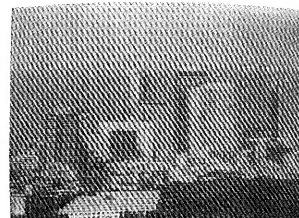
配線と各部の操作が間違っていないか、もう一度よく読んで確認してください。

●画面が出ない場合、または、著しくスノーノイズが出る場合

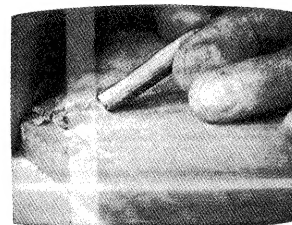
- ①増幅部のVU出力端子にDC14~15Vがきていますか。
- ②各配線が断線またはショートしていませんか。
- ③入力切換スイッチが正しく操作してありますか。
- ④各アンテナからの入力レベルが最小入力レベル36dB μ (がまん限)以上になっていますか。

●画面にビート縞・ワイパー現象が出る場合

- ①他の電波との混信がありませんか。(外部からくる混信電波を止める以外方法はありません)各アンテナの方向を変えて画像が一番良くなるように、調整してください。
- ②各アンテナからの入力レベルが、最大入力レベル以下になっていますか。
(最大入力レベルはch6:60dB μ , VHF:100dB μ , ch25:83dB μ , ch39:87dB μ) 入力レベルが高い場合、入力端子に別売の減衰器ATT6KFD, 10KFD, 15KFD, 20KFD)を使用してください。



ビート縞



ワイパー現象

規格表

(電氣的時性は、JEITA表示法による)

増幅部

項目	帯域	VHF			UHF	
	ch1～3&FM	ch9～12	ch6	ch25	ch39	
利得	17～23dB		22～28dB	37～42dB	34～40dB	30～36dB
利得偏差 (P/V)	4dB以内			3dB以内	2dB以内	2dB以内
入力レベル調整ATT	0, 10, 15, 25dB切換			——	0, 10, 20dB切換	
実用入力レベル	36 (がまん限)～75dB μ (※1 100dB μ)			36 (がまん限)～60dB μ	36 (がまん限)～63dB μ (※2 83dB μ)	36 (がまん限)～67dB μ (※2 87dB μ)
定格出力レベル	95dB μ	100dB μ	100dB μ	100dB μ		
混変調／相互変調	⊖46dB以下／⊖53dB以下			※3 ⊖30dB以下 (3信号法による)		
雑音指数	1.5～4dB				2～4dB	
VSWR	3以下					
入・出力インピーダンス	75 Ω					
電源	DC 15V, 0.05A					
使用温度範囲	⊖20～⊕40℃					
外観寸法	130 (H) ×199 (W) ×73 (D) mm					
質量 (重量)	約420g					

実用入力レベルの最小値(がまん限)は、スノーノイズを完全に除去できませんが、実用になる限界です。

※1 は内蔵のアッテネーターを25dBにしたときの最大入力レベルです。

※2 は内蔵のアッテネーターを20dBにしたときの最大入力レベルです。

※3 はカラー混変調です。

MASPRO

電源部

MASPRO

項目	規格
1次電圧	AC100V 50・60Hz
消費電力	AC100V 50・60Hz 1.8W コンバーター給電時:6.2W
直流出力電圧・電流	DC15V 0.05A コンバーター給電時:0.32A
入・出力インピーダンス	75 Ω (F型コネクター)
挿入損失	2dB以下(76~2602MHz)
使用温度範囲	0~⊕40℃
外観寸法	40(H)×124(W)×99(D) mm
質量(重量)	約250g

付属品

防水キャップ 4個
壁面取付金具(増幅部用) 1個
木ネジ ϕ 3×10mm(増幅部壁面用) 2本
 ϕ 4×12mm () 2本
 ϕ 3×15mm(電源部壁面用) 2本
F型コネクター(電源部5Cケーブル用) 2個

マスプロの規格表に絶対うそはありません。
ご理解と信頼あるデータにご期待ください。

製品向上のため仕様・外観は変更することがあります。



福井営業所 〒918-8231 福井市間屋町3-1002
TEL(0776) 23-8153